

11 宇和島城(愛媛) 宇和島市丸之内1番地

天守が建造されたのは慶長6年(1601)藤堂高虎築城の時とされており、上から見ると不等辺五角形の城郭は、高虎ならではの工夫が見受けられます。高虎が今治に転封となつてのち、奥州仙台藩主伊達政宗の長子秀宗が宇和郡10万石を賜り元和元年(1615)に入城。2代宗利の時代に天守以下、城郭の大修理を行い、寛文11年(1671)に完成。城山は国史跡であり、天守は独立式層塔型三重三階。石垣については、高虎から伊達家によるものまで新旧さまざまな石垣が残されているが堀はすべて埋められている。



天守に通じる石垣



石垣



天守



天守の内部



井戸



井戸を上から撮りました